

令和3年度第2回成田市健康づくり推進協議会会議録

1 開催日時

令和4年3月24日(木) 午後2時～午後2時45分

2 開催場所

成田市赤坂1丁目3番地1
成田市保健福祉館 検診室

3 出席者

(委員)

國保委員、野内委員、木内委員、京増委員、高木委員、高田委員

(事務局)

高橋健康こども部長、門井健康増進課長、太田課長補佐、谷下田主幹
三上係長、前田係長、伊藤副主査

4 欠席者

藤崎委員、小森委員、加藤木委員、山本委員

5 会長あいさつ

6 健康こども部長あいさつ

7 議題

① 議案第1号 令和4年度健康増進課事業計画(案)について

8 議事（要旨）

① 令和4年度健康増進課事業計画（案）について

令和4年度健康増進課事業実績について、事務局より係ごとに主な事業実績について説明を行った。

- ・管理係所管業務について三上係長より説明
 - ・成人保健係所管業務について前田係長より説明
 - ・母子保健係所管業務について谷下田主幹より説明
- 別添資料により事務局が主な事業について説明

※主な質疑応答は以下のとおり

委員：がん患者等支援事業は、市の単独事業なのか。

事務局：市の単独事業です。近年、他市町村でがん患者等支援事業を行うところが増えてきており、この度、本市でも新規事業として開始することになりました。

委員：予算の計上額はいくらか。

事務局：他市での実績を参考とし、予算額は146万円を計上しております。

委員：がん患者等支援事業の周知方法について、がん患者等に知ってもらうことが大事だと思うので、患者が治療のため通っている医療機関にポスターやチラシを置かせてもらった方がよいのではないかと。

事務局：県内の緩和ケア病棟や緩和ケア外来を有する医療機関、がん患者の相談支援センターを行っている医療機関、こども病院へポスターを送付する予定です。ポスターやチラシを見て、問い合わせをしてくださった方には、詳細が分かるリーフレットをご用意しております。

委員：HPVワクチンの積極的勧奨を再開するとのことだが、副反応における体調不良について市ではどう考えているのか。

事務局：副反応で不調を訴えるお子さんは、一定数いるものと想定しています。しかし、ワクチンとの因果関係はあまりないという根拠もあり、ワクチンを打たなくても同じような症状を訴えるお子さんもいるとのことですので、説明を丁寧にすることで解消できると考えています。

接種をして症状が出た場合、まずは接種を行った医院で対処をして頂くこととなりますが、さらに専門的な治療が必要となった場合は、都道府県ごとに設けられた医療機関を受診していただくこととなります。

委員：HPVワクチンの接種を行うのは、婦人科だけなのか。

事務局：予防接種を取り扱っている医療機関で接種が可能です。

委員：以前は筋肉注射が浸透していなかったこともあり、筋肉注射という

だけで驚いてしまうお子さんも多かったが、最近は新型コロナウイルスワクチンで筋肉注射を経験しているお子さんが多いため、意識が変わってきていると感じる。しかし、以前のイメージも払拭できていないのも事実であるので、親御さんやお子さんが安心して接種してもらえるよう丁寧な説明は必要だと感じる。

事務局：国から効果とリスクがよく分かるリーフレットが示されましたので、予診票と合わせて送付する予定です。

委員：障がい者健（検）診は、集団健（検）診でやっているのか。

事務局：集団健（検）診で、障がいがあるため、受診が不安といった申し出があれば、介助を行っています。集団健（検）診のバスに乗り込むことも難しい方については、個別健（検）診で対応してもらっています。

委員：障がい者の介助は、年間どれくらいの実績があるのか。

事務局：今年度は数件の実績があります。

委員：受診しない障がい者も多いと感じるが。

事務局：障がい者それぞれに対応しようとしているが、やはり受診を希望して頂けた方に限るため、障がい者全体の数から見ると少ない受診者数になっております。

原案どおり承認

9 傍聴者

傍聴者 0人

10 次回開催日時

第2回 令和4年7月28日（木）午後2時～（予定）